

北薩感染症情報

2024年第26週(6月24日～6月30日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
内科・小児科定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0		1	—	—	↓	—	—	1	0.20	↗	—
	COVID-19	—	—	—		61	93	13.29	↗	—	25	31	6.20	↗	—
小児科定点	RS	—	—	—		14	40	10.00	↗	—	7	20	6.67	↗	—
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—		10	4	1.00	↓	◎	8	2	0.67	↓	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—		7	7	1.75	→	—	38	45	15.00	↗	◎
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—		22	14	3.50	↓	—	8	11	3.67	↗	—
	水痘	2.0	1.0	1.0		1	5	1.25	↗	—	—	—	—	→	—
	手足口病	5.0	2.0	—		27	33	8.25	↗	◎	15	18	6.00	↗	◎
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—		—	—	—	→	—	1	—	—	↓	—
	突発性発疹	—	—	—		1	1	0.25	→	—	—	1	0.33	↗	—
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—		2	1	0.25	↓	—	2	1	0.33	↓	—
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—		6	—	—	↓	—	—	—	—	→	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	クラミジア肺炎	—	—	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告		—	—	—		—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
指定医療機関からの COVID-19入院報告		—	—	—		1	—	—	↓	—	1	—	—	↓	—
報告数合計		—	—	—		153	198	—	↗	—	105	130	—	↗	—
<p><注意報・警報レベル></p> <ul style="list-style-type: none"> 川薩保健所管内 咽頭結膜熱(警報レベル), 手足口病(警報レベル) 出水保健所管内 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報レベル), 手足口病(警報レベル) <p><全数報告></p> <ul style="list-style-type: none"> 川薩保健所管内 なし 出水保健所管内 なし <p><インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等></p> <ul style="list-style-type: none"> 川薩保健所管内 なし 出水保健所管内 なし 															

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				17W	18W	19W	20W	21W	22W	23W	24W	25W	26W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.29	0.29	1.00	2.29	1.00	0.43	1.29	0.57	0.14	—
	COVID-19	—	—	2.14	1.00	2.00	1.43	1.57	2.86	8.00	10.43	8.71	13.29
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.75	1.00	0.75	—	0.75	1.50	2.75	3.00	3.50	10.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	5.50	3.50	4.50	2.75	2.50	2.75	2.00	2.25	2.50	1.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	3.50	2.75	3.25	1.50	7.75	2.50	3.00	4.00	1.75	1.75
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	4.75	2.25	2.50	3.75	5.75	3.50	2.75	4.25	5.50	3.50
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.25	—	0.25	0.25	—	—	0.50	1.00	0.25	1.25
	手足口病	5.00/2.00	—	2.50	2.50	6.75	15.50	16.25	9.25	8.25	8.00	6.75	8.25
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.50	0.25	1.00	0.25	0.75	0.25	0.50	0.50	0.25	0.25
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	0.25	—	0.75	—	0.75	0.25	0.25	0.50	0.25
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	5.00	1.00	4.00	1.00	6.00	5.00	5.00	2.00	6.00	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				17W	18W	19W	20W	21W	22W	23W	24W	25W	26W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	—	—	0.20	—	—	0.20	—	0.20	—	0.20
	COVID-19	—	—	0.60	1.80	1.60	0.80	2.80	2.00	4.60	3.60	5.00	6.20
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.67	0.33	0.33	0.33	1.00	1.33	2.33	2.33	2.33	6.67
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	3.67	3.67	6.33	5.33	5.67	5.67	7.00	4.67	2.67	0.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	13.67	9.33	8.33	10.33	17.67	19.33	11.00	11.67	12.67	15.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	0.67	0.33	1.67	2.00	2.33	4.00	4.33	3.67	2.67	3.67
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	0.33	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	2.00	0.67	2.67	5.67	6.33	5.33	2.33	5.00	5.00	6.00
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.33	—
	突発性発疹	—	—	0.33	0.33	—	—	—	1.00	0.33	0.33	—	0.33
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	0.67	0.67	1.33	0.33	1.00	0.33	—	1.00	0.67	0.33
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

★第 25 週に関して、出水においては咽頭結膜熱の警報が解除されましたが、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病が引き続き警報発令中です。また、川薩においては咽頭結膜熱と手足口病が警報発令中です。インフルエンザ様症疾患における学級閉鎖等はありませんでした。警報レベルが定められておりませんが、RS ウイルス感染症も報告数が増加しているため、予防をしっかりと行いましょう。RS ウイルスもアルコールが効果的ですので、持ち運び用を常備しておく、外出先で食事をする前や公園等で遊んだ後すぐに消毒できてとても便利です。

ハンセン病問題について 正しく理解しましょう！

(出典 国立ハンセン病資料館ホームページ)

Q&A

Q.『ハンセン病』の名前の由来は？

A.ハンセン病の原因病原体であるらい菌を発見した、アルマウル・ハンセンにちなんで『ハンセン病』と呼ばれています。

Q.発症の原因は？

A.乳幼児の時期に治療をしていないハンセン病患者に繰り返し接触した人が、免疫機能の低下により発症することがあります。しかし、ハンセン病の原因となるらい菌は発症させる力が弱く、菌が体の中に入っても多くの場合は免疫機能により発症することはありません。

Q.日本におけるハンセン病の発生状況は？

A.今の日本は栄養状態や衛生環境が良好であることに加え、感染源となる患者がいなかったため、現在、日本で生まれ育った人がハンセン病を発症するケースはほとんどありません。

Q.ハンセン病は治る病気だとわかってからも差別が続いた理由は？

A.ハンセン病は国の恥、恐ろしい病気といった誤った意識を国民に植え付け、治る病気だとわかった後も強制隔離政策等を行ったため、ハンセン病患者と回復者への偏見・差別による人権侵害が助長されることになりました。



患者の家は真っ白になるまで
消毒されて、
現金は取り上げられました...

～ハンセン病元患者の御家族様へ～

令和元年に「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律」が成立し、同年11月22日に公布・施行されました。ハンセン病元患者家族等が、偏見と差別の中で、ハンセン病元患者との間で望んでいた家族関係を形成することが困難になる等長年にわたり多大の苦痛と苦難を強いられてきたにもかかわらず、その問題の重大性が認識されず、これに対する取組がなされてこなかった、その悲惨な事実を悔悟と反省の念を込めて深刻に受け止め、深くおわびする旨が述べられています。

是非、次ページポスターをご覧ください。

ハンセン病 元患者のご家族へ

～対象となる方々に「補償金」を支給します。
秘密は守られます。～

- 秘密は守られますので、まずは、お電話でご相談ください。
- この補償金は、法に基づき、ハンセン病元患者家族の被った精神的苦痛を慰謝するためのものです。

対象者	(ア) 配偶者（事実婚も含む） (イ) 親、子 (ウ) 親・子の配偶者及び 配偶者の親・子等	補償金額 180 万円
	(エ) 兄弟姉妹 (オ) 祖父母・孫 (カ) 祖父母・兄弟姉妹・孫の 配偶者及び配偶者の祖父母・ 兄弟姉妹・孫等 (キ) 曾祖父母、ひ孫、おじ、 おば、おい、めい	補償金額 130 万円

※ 平成8年（1996年）3月31日までの間に、「ハンセン病の発病歴・国内等居住歴のある方」と上記関係にあったことがあり、現在、生存されている方が対象です。また、同居など一定の要件が必要な場合があります。

厚生労働省補償金相談窓口

電話番号 **03-3595-2262**

受付時間 10：00～16：00（月曜日から金曜日。土日祝日、年末年始を除く。）



請求期限は、**令和11年（2029年）11月21日まで**

ハンセン病問題を正しく理解し、
偏見や差別のない社会の実現を目指しましょう。

ハンセン病 厚労省 検索

COVID-19の感染予防もお忘れなく！

- ・飛沫感染
- ・接触感染
- ・エアロゾル感染

COVID-19とは...？

新型コロナウイルス(SARS-CoV2)が原因となり、感冒様症状が現れる感染症です。発症2日前～発症後10日間は感染性のウイルスを排出しているといわれています。ウイルスに触れても健康な皮膚からは侵入できず、付着するだけですが、その手を洗わずに目や鼻、口を触ることにより、粘膜から体内に侵入してしまいます。石けんやアルコールはウイルスの膜を壊すため、有効です。日頃から手指衛生に心がけましょう。

コロナウイルス...コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスやSARS, MERSウイルス等も含まれます。

原因病原体: 新型コロナウイルス(SARS-CoV2)

ヒトヒト感染: あり

症状: 発熱, 咳, 全身倦怠感等の風邪症状

潜伏期: 1～14日(3日～5日後の発症が多い)

重症化しやすい方: 基礎疾患をお持ちの方, ご高齢の方, 妊娠後期の方



自分や身近な人が新型コロナウイルス感染症を発症したら...？

出勤お勤め先に相談し、指示に従ってください。また、学校等も出席に制限がありますので、速やかに連絡しましょう。

※保健所から自宅療養をお願いしたり、濃厚接触者を特定したりなどはしません

発症した日を0日として、5日間は人混みや外出を控えること、10日間はマスクの着用をすることが推奨されています。

名前の由来は...？

コロナウイルス

ウイルスが突起のついた形をしており、王冠のように見えることから、ギリシャ語で王冠という意味である、「コロナ」と名付けられました。

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)

「COronaVirus Infectious Disease, emerged in 2019」に由来しており、2019年にWHOにて報告された、コロナウイルスによる感染症という意味です。



家族が新型コロナウイルスに感染した時のポイント

新型コロナウイルス感染症に感染された方について



発症後5日間かつ症状が軽快して24時間程度は他人に感染させるリスクが高いことから、外出を控えることが推奨されます。また、10日間が経過するまでは、マスクを着用し、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

お世話をする方や同居家族の方について



ご自身の体調にも注意してください。

- ・ 感染した方の発症日を0日として、特に5日間は注意してください。7日目までは発症する可能性があります。
- ・ 外出するときには人混みを避け、マスクを着用しましょう。高齢者等のハイリスク者との接触を控えるなど、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

家庭でできる感染対策

1.窓を開けて換気



定期的に換気をしましょう
共用スペースや他の部屋も頻繁に換気しましょう。

2.部屋を分ける



可能な範囲で部屋を分けましょう

お世話はできるだけ限られた方で行い、接触する時間をなるべく短くするようにしましょう。

心臓、肺、肝臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

3.マスクを着用



同居家族は可能な範囲でマスクを着用しましょう
感染した家族に接する時や外出する時はマスクを着用しましょう。マスクを隙間無くフィットさせ、正しく着用しましょう。

4.手洗い等の手指衛生



こまめに手洗いしましょう

その他一般的な衛生対策として、汚れたリネン・洋服は洗濯し、ゴミは密閉して捨てましょう。



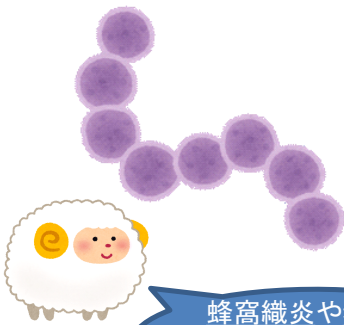
警報が続いているA群溶血性レンサ球菌咽頭炎って...？



- ・飛沫感染
- ・接触感染
- ・経口感染

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは...？

A群レンサ球菌による上気道感染症です。小児だけではなく、いずれの年齢層でも起こりえますが、3歳以下及び成人では、感染しても典型的な症状が現れない場合がほとんどです。また、5歳～15歳での感染は、合併症を起こしやすく、心臓や腎臓に炎症が起きてしまいます。大人の感染は子どもからうつることが多いため、家族の中に感染している方がいらっしゃる場合は、受診時に医師に伝えましょう。



蜂窩織炎や猩紅熱の原因病原体でもあります

レンサ球菌は名前の通り、丸い菌が連なった形をしており、Lancefield A～V群(I, Jは除く)に分類されます。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の原因となるレンサ球菌はA群に属し、血液寒天培地(細菌の培養に使用する培地)上で溶血を起こすので『A群溶血性レンサ球菌』と呼ばれています。

原因病原体: A群レンサ球菌

症状: 発熱, 全身倦怠感, 咽頭痛, 嘔吐, 小点状出血(舌, 軟口蓋)

潜伏期: 2～5日

流行時期: 春～初夏, 冬

特徴: ヒトとヒトが接する機会が増加するときに起こりやすく、家族や学校などの集団での感染も多い(感染率は兄弟間が25%と、最も高率)

30代以上の大人に多い、劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、死亡率30%と急激に上がります。家族みんなで感染対策に取り組みましょう。



RSウイルス感染症の報告数も
増加中です！

・飛沫感染
・接触感染

RSウイルス感染症とは...？

RSウイルス感染症とは、RSウイルスによる呼吸器感染症のことです。何度も感染と発病を繰り返しますが、2歳までにほぼ100%の児が少なくとも1度は感染すると言われています。初感染時、特に生後6ヶ月以内の感染はより重症化しやすく、気管支炎や肺炎などを引き起こす可能性があります。多くは軽症で、自然解消しますが、初期感染乳幼児の3割は咳がひどくなる、喘鳴（呼吸した時にゼーゼーと音がすること）がでる、呼吸困難となるなどの症状に変わり、重症化します。

原因病原体：RSウイルス

ヒト-ヒト感染：あり

症状：発熱、鼻汁

潜伏期：2～8日（典型的には4～6日）

流行時期：春～秋（夏がピーク）

ワクチン：60歳以上の方・妊婦の方を対象にワクチン接種が可能



大人は感染しても症状が軽度であることが多く、知らぬ間に子どもにウイルスをうつしてしまう可能性があります。

咳や鼻汁等の症状がある場合はマスクの着用や手指衛生などをしっかりと行い、うつしてしまわないようにしましょう。

原因ウイルスがわかっていなかった時代は、熱が下がってから喘鳴が出ることもあったため、「無熱性肺炎」と呼ばれていました。

また、呼吸困難を伴うと酸素不足により、顔色が紫色になる（チアノーゼ）ため、「ブルー肺炎」とも呼ばれていました。

出典：日本医師会ホームページ



アルコール消毒効果あり!!!